

### I

#### ■出題のねらい

災害時の避難者がどこにいるのかを知るのに携帯電話が役に立つという内容の英文です（出典は *The Japan News* 掲載の “Cell phones set to guide disaster aid” という記事）。

□1 は、英文の全体的な趣旨を理解できているかどうかを見ます。□2 は、基本的な単語の意味を知っているかどうかを見ます。□3 は、やや難しい単語の意味を文脈から推察する問題です。□4 では、英文の構造について適切に理解できているかが問われます。□5 は、英文の内容を細部にわたり注意して読み、理解していることが求められます。

#### ■採点講評

□3 の問題が難しかったようです。その場所に急に人が増えたことを見て政府が救援物資を送るべき場所と判断するので、答えは **sudden rise** になります。□4 は、意味の面から、そして英文の構造の面から考えていくと、「東京オリンピックを前に日本を訪れる外国人がより多くなると予想される状況で」という付帯状況を表す **with** が正解になりますが、難しい問題だったようです。□5 の正答率も低かったのですが、誤って選択肢①を選んだ人が多かったのではないのでしょうか。ここで紹介されているシステムは「人が避難している場所」を見つけるためのもので「人がこれから避難する場所」を見つけるためのものではありません。

### II

#### ■出題のねらい

長く続く会話を丁寧に読み、適切に内容を理解しているかどうかを問う問題です。□6 は関係代名詞の理解を見ます。□7, □8 は適切な前置詞を選ぶことができるかを見ます。□9 は **awesome** の会話でよく使われる「すごい」という意味の用法を知っているかどうかを、□10 は英文の内容を細部まで理解しているかどうかを見ます。

#### ■採点講評

□6, □7, □8 の空所補充の問題の正答率が低かったです。基本的な文法や単語の用法はしっかり覚えておきましょう。特に関係代名詞の用法については十分に理解しておいた方がよいでしょう。□9 はよくできていました。□10 は選択肢⑤にある **used to**～が「かつては～だった」と過去の意味になるということを知っているかどうかでも正答できるかどうかの鍵になったと思います。

### III

#### ■出題のねらい

場面ごとに会話を理解し、設問に答える問題です。□11□, □15□, □17□は語法の知識を問います。□12□は英文構造の理解を見ます。□14□, □16□, □18□は、会話の内容を注意して把握していないと正答は難しいと思われます。

#### ■採点講評

□11□を間違えた人は、**every**の後は単数形、**almost**は副詞なので直接、名詞を修飾することはないということが分かっていなかったものと思われます。□12□の正答率は低かったのですが、並べ替えて完成した英文は“**What sports do you play?**”になります。このような基本的な英文を日頃からすぐ言えるようにしておくことが大切です。□16□は難しかったようです。選択肢②にある**free**に「自由な」だけでなく「無料の、ただの」という意味があると知っているかどうかが解答の鍵になります。また、「相手に勝つ」という意味の表現を選ぶということは分かっても、**win**は**win the game**「試合に勝つ」のように用いて、「相手を打ち負かす」場合は**beat**を用いるということを知らなければ誤答してしまうでしょう。このように同じような意味の語法の違いも勉強していきましょう。□13□, □15□の基本的な語法の問題はよくできていました。

## IV

### ■出題のねらい

出典は *The Japan Times ST* 掲載の “Breaking Bread” という記事です。[19]～[22] の空所補充の問題は、語法・文法の知識を問うものです。[23] は、適切な英文を作る能力を見ます。[25] は、難しい表現が用いられていても、文脈から判断して適切な意味を選ぶことができるかどうかを見ます。[26] は英文の内容を正確に理解しているかどうかを見ます。

### ■採点講評

[19] は、**finish** の後には動名詞が来るという基本的な問題です。比較的よくできていました。[20]、[21] の正答率は低かったです。[20] は、その前の温かい飲み物、冷たい飲み物をめぐる店員と客とのやり取りについて述べているので「これらのやり取りは短いものだけども」ということで **brief** が正解になります。[21] の **have something in common** (共通点がある) というイディオムはよく用いられる表現です。[23] のような並べ替え問題は苦手な人が多いようです。動詞 **like** には “I like to go for a walk on Sundays” (私は日曜日に散歩するのが好きだ) のように主語のしたいことを述べる場合もありますが、“I like him to accompany me” (私は彼に付き添ってもらいたい) のように目的語の人や物にあることをしてほしい、ある状態であってほしいという場合もあります。問題の箇所は後者の用法で、完成した英文は “I like the slices to be as thin as possible.” ((パンの) スライスはできるだけ薄くしてほしい) となります。[24] は比較的よくできていました。[25] も難しいと予想していたのですが、比較的よくできていました。[26] の正答率は低かったです。2つ選ぶところを1つしかマークしていない人も少なからずいました。問題の指示文を注意して読みましょう。副詞 **rarely** や **have nothing to do with** (～と関係がない) のイディオムの意味を知っていることも解答の鍵になります。